札幌市交通局

タッチ決済による地下鉄乗車サービスの実証実験について

【実証実験に至るまでの経緯】

札幌市交通局では、令和７年４月２６日（土）より、タッチ決済に対応したクレジットカード等で地下鉄に乗車できるサービスの実証実験を開始しました。

本実証実験は、札幌市に設置されている民間企業からのＤＸに関する実証実験の提案を受け付ける窓口に、カード会社から本実証実験の提案があり、札幌市、改札機メーカー等と協議や検討を重ね、実施に至ったものです。

【実施にあたって協議・検討したこと】

本市における駅構造上の特徴として、改札機から離れた場所に駅務室がある駅が多く、他都市で見られる改札機横の有人窓口に専用リーダーを置くという対応が取れませんでした。そのため、関係者との協議により、全駅、全改札口に１通路は専用リーダーを設置することで対応することとしました。

また、大きな荷物を持った旅行客や、車いすのお客さまでも本サービスをご利用いただけるよう、通路幅の広い改札機を中心に専用リーダーの設置場所を検討しました。

【利用状況・お客さまからの声】

タッチ決済の利用状況は、サービス開始日は約 1,200 人の利用でしたが、徐々に利用者は増え、５月は１日平均で約 3,000 人の利用がありました。これは、当局の１日あたり乗車人員の約 0.5%程度となっています。

お客さまからは、タッチ決済の導入に対しては概ね好評いただいておりますが、各改札口に１通路のみの設置のため、タッチ決済を利用できる改札機をもっと増やしてほしいとのご意見をいただいています。

【今後の展開について】

地下鉄におけるタッチ決済の実証実験については、利用動向の把握や利用者の分析を行い、通路の増設等、今後の本格導入に向けた検討を行ってまいります。

一方、近年は、タッチ決済以外にも、乗車手段として QR コードを取り入れる事業者が増えているほか、顔認証による改札機などを導入する動きがみられるところです。

札幌市交通局は、経営方針として「快適なお客さまサービスの提供」を掲げています。乗車手段が多様化する中、先行事例や先端技術について調査を行い、本市地下鉄にとって最適な乗車サービスについて検討を進め、さらなる利便性の向上に取り組んでまいります。

〈問い合わせ〉
札幌市交通局事業管理部営業課
電話：011-896-2706